【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公開番号】特開2013-196367(P2013-196367A)
【公開日】平成25年9月30日(2013.9.30)
【年通号数】公開・登録公報2013-053
【出願番号】特願2012-62705(P2012-62705)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/041　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/93　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ 101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/041　３３０Ｃ
Ｈ０４Ｎ　5/93　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｂ
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ
Ｈ０４Ｎ 101:00

【手続補正書】
【提出日】平成27年3月16日(2015.3.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
表示手段に対するタッチ操作の受け付けを有効とするか無効とするかを設定する設定手段と、
前記設定手段でタッチ操作の受け付けが無効に設定されている場合には、選択肢項目を前記表示手段に表示すると共に、当該選択肢項目にアイコンを重ねて表示するように制御し、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合には、前記選択肢項目を前記表示手段に表示すると共に、前記アイコンを前記選択肢項目に重ならない領域に表示するように制御する表示制御手段と、
前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合に、前記表示手段に表示された前記選択肢項目に対するタッチ操作に応じて当該選択肢項目を選択し、前記表示手段に表示された前記アイコンに対するタッチ操作に応じて前記アイコンを選択するように制御する制御手段と、を有することを特徴とする表示制御装置。
【請求項２】
前記表示制御手段は、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが無効に設定されている場合には、第１の大きさで選択肢項目を前記表示手段に表示すると共に、当該選択肢項目にアイコンを重ねて表示するように制御し、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合には、前記選択肢項目を前記第１の大きさより小さい第２の大きさで前記表示手段に表示すると共に、前記アイコンを前記選択肢項目に重ならない領域に表示するように制御することを特徴とする請求項１に記載の表示制御装置。
【請求項３】
前記表示制御手段は、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されており、前記アイコンを表示することなく前記選択肢項目を前記第１の大きさで表示していた状態

から、前記アイコンを表示する場合に、前記選択肢項目を前記第２の大きさに変更して表示するように制御することを特徴とする請求項２に記載の表示制御装置。
【請求項４】
前記表示制御手段は、前記選択肢項目を前記第２の大きさで表示していた状態から、前記アイコンを非表示にする場合には、前記選択肢項目を前記第１の大きさに変更して表示するように制御することを特徴とする請求項２または３に記載の表示制御装置。
【請求項５】
外部機器と接続する接続手段をさらに有し、
前記表示制御手段は、前記接続手段を介して前記外部機器が接続されたことに応じて前記アイコンを表示するように制御することを特徴とする請求項３または４に記載の表示制御装置。
【請求項６】
外部機器と接続する接続手段をさらに有し、
前記表示制御手段は、前記接続手段を介して前記外部機器が接続されなくなったことに応じて前記アイコンを非表示にするように制御することを特徴とする請求項３ないし５のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項７】
前記表示制御手段は、前記選択肢項目にアイコンを重ねて表示する際、前記アイコンを半透過で表示するように制御することを特徴とする請求項１ないし６のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項８】
前記タッチ操作を検出する検出手段と、
前記タッチ操作とは異なる操作によって前記選択肢項目のいずれかを選択する選択手段と、
前記タッチ操作とは異なる操作によって前記アイコンが示す機能を実行させる指示を受け付ける受付手段と、をさらに有することを特徴とする請求項１ないし７のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項９】
前記表示制御手段は、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが無効に設定されている場合に、前記表示手段に表示される前記選択肢項目の数を増やすための第１の操作が行われたことに応じて、当該第１の操作が行われる前に表示されていた前記選択肢項目の数よりも多い所定数の選択肢項目を前記第２の大きさよりも小さい第３の大きさで表示し、
前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合に、前記第１の操作が行われたことに応じて、前記所定数よりも少ない選択肢項目を前記第３の大きさで表示すると共に、前記アイコンを前記選択肢項目に重ならない領域に表示するように制御することを特徴とする請求項２ないし６のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項１０】
前記表示制御手段は、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されており、かつ前記表示手段に前記アイコンを表示することなく所定数の前記選択肢項目を表示していた状態から、前記アイコンを表示する場合に、表示されている所定数の前記選択肢項目のうち少なくとも１つを非表示にすると共に、当該アイコンを表示される前記選択肢項目に重ならない領域に表示するように制御することを特徴とする請求項１ないし８のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項１１】
前記表示制御手段は、前記選択肢項目のうち選択されている項目が非表示となる位置にない場合には、選択されていない項目のいずれかを非表示にし、選択肢項目のうち選択されている項目が非表示となる位置にある場合には、選択されている項目を非表示とならない位置に変更し、選択されていない項目のいずれかを非表示にすることを特徴とする請求項１０に記載の表示制御装置。
【請求項１２】

前記表示制御手段は、前記アイコンが非表示になった場合、タッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合であって前記選択肢項目が所定数よりも減じられて表示されていた場合は所定数の選択肢項目を表示するように制御することを特徴とする請求項１０または１１に記載の表示制御装置。
【請求項１３】
前記表示制御装置は、撮像手段を有する撮像装置であり、
前記選択肢項目は、前記撮像手段で撮像された画像であることを特徴とする請求項１ないし１２のいずれか１項に記載の表示制御装置。
【請求項１４】
表示手段と、前記表示手段に対するタッチ操作の受け付けを有効とするか無効とするかを設定する設定手段と、を有する表示制御装置の制御方法であって、
前記設定手段でタッチ操作の受け付けが無効に設定されている場合には、選択肢項目を前記表示手段に表示すると共に、当該選択肢項目にアイコンを重ねて表示するように制御し、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合には、前記選択肢項目を前記表示手段に表示すると共に、前記アイコンを前記選択肢項目に重ならない領域に表示するように制御する表示制御工程と、
前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合に、前記表示手段に表示された前記選択肢項目に対するタッチ操作に応じて当該選択肢項目を選択し、前記表示手段に表示された前記アイコンに対するタッチ操作に応じて前記アイコンを選択するように制御する制御工程と、を有することを特徴とする制御方法。
【請求項１５】
コンピュータを、請求項１ないし１３のいずれか１項に記載された表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラム。
【請求項１６】
コンピュータを、請求項１ないし１３のいずれか１項に記載された表示制御装置の各手段として機能させるためのプログラムを記憶したコンピュータが読み取り可能な記憶媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記課題を解決し、目的を達成するために、本発明の表示制御装置は、表示手段に対するタッチ操作の受け付けを有効とするか無効とするかを設定する設定手段と、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが無効に設定されている場合には、選択肢項目を前記表示手段に表示すると共に、当該選択肢項目にアイコンを重ねて表示するように制御し、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合には、前記選択肢項目を前記表示手段に表示すると共に、前記アイコンを前記選択肢項目に重ならない領域に表示するように制御する表示制御手段と、前記設定手段でタッチ操作の受け付けが有効に設定されている場合に、前記表示手段に表示された前記選択肢項目に対するタッチ操作に応じて当該選択肢項目を選択し、前記表示手段に表示された前記アイコンに対するタッチ操作に応じて前記アイコンを選択するように制御する制御手段と、を有する。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
図１において、メモリ制御部１０１は画像データの圧縮・伸長を行い、外部メモリ１０

７からの信号の授受を行うメモリ制御部（記録再生部）である。メモリ１０６は画像の展開に使用される。外部メモリ１０７は画像が記録されたメモリーカードなどの外部記録媒体である。画像表示メモリ１０２は、バッファメモリとしての画像表示用のメモリである。表示部１０３は、画像や各種情報を表示するＬＣＤ等のディスプレイデバイスである。タッチパネル１０４は、ユーザのタッチ操作を検出するセンサである。タッチパネル１０４は、表示部１０３に重ね合わせて平面的に構成され、接触された位置に応じた座標情報を出力する入力デバイスである。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】

図３（ｃ）に、タッチ入力の設定が「入」である場合に図３（ａ）の状態から外部機器１１３としてのプリンタが接続された場合の表示例を示す。プリンタが接続されると、マルチ再生されていた９枚の画像がそれぞれ標準サイズより縮小したサイズで表示される（すなわち、図３（ｃ）の画像の表示サイズは図３（ａ）での画像の表示サイズより小さい）。そして、縮小した分広くなった空きスペース（無画像領域）に、プリンタで印刷する画像を決定する指示を受け付けるためのキーガイドかつタッチアイコンとして、ＳＥＴアイコンが画像と重ならないように表示される。この表示を見ることで、ユーザはＳＥＴアイコン３０２を押下すれば、選択カーソル３０１で選択している画像に対する印刷指示を行えることがわかる。また、図３（ｃ）の場合はタッチ入力の設定が「入」のため、タッチ入力を受け付ける状態となっている。そのため、図３（ｃ）では、マルチ表示されている各画像をタッチすることで選択して選択カーソルをその画像に移動させることができ、また、ＳＥＴアイコン３０２をタッチすることでも選択カーソル３０１で選択している画像に対する印刷指示を行える。ここで、仮に画像とＳＥＴアイコン３０２を重畳して表示してしまうと、重畳部分にタッチされた場合に、画像の選択を指示したものであるのか、ＳＥＴアイコン３０２へのタッチを行ったものなのかを判別するのが困難になってしまう。しかし、図３（ｃ）のように画像とＳＥＴアイコン３０２が重ならないように表示することで、ユーザからのタッチ操作がＳＥＴアイコン３０２に対するものなのか画像に対するものなのかを明確に区別してタッチ操作を受け付けることができる。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】

Ｓ４１７では、システム制御部１０５は、マルチ再生処理を終了するイベントがあったか否かを判定する。マルチ再生処理を終了するイベントがあったと判定した場合はマルチ再生処理を終了し、そうでない場合はＳ４０９に戻って処理を繰り返す。ただし、タッチ入力の設定に変更がない場合にはＳ４１０及びＳ４１１の表示の更新は行わない。